

# モニタリング結果報告書

施設 津久井やまゆり園  
指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会  
施設所管課 障害サービス課

(平成 23 年度 下半期)

## 管理運営状況総括

### 1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

#### <判定理由>

県の求めるサービスについて提供しながら、収支状況も良好である。利用者数については、目標利用者数には満たないものの、前年比では増加していることから、B判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

### 2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日		○	×	×	なし	
11月	12月5日		○	×	×	なし	
12月	1月5日		○	×	×	なし	
1月	2月6日		○	×	×	なし	
2月	3月6日		○	×	×	なし	
3月	4月9日		○	×	×	なし	

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

#### <提案内容の概要>

- 1 強度行動障害対策生活支援事業の実施
- 2 生活支援の充実と強化
- 3 地域生活移行支援の推進
- 4 医療的ケア支援事業の実施
- 5 障害者地域余暇活動支援事業の実施
- 6 地域交流等支援事業の実施

- 7 地域防災ネットワーク推進事業の実施
- 8 拠点施設機能育成事業の実施

<実施状況>

- 1 在宅で生活する強度行動障害児者支援の充実を図るため、ケースワーカーと担当職員が津久井養護学校や近隣の特別支援学級を訪問し、相談やケース等の情報交換を実施した。
- 2 利用者の生活支援の充実と強化を図るため、担当職員、日中支援課職員、心理職員が定期的にカンファレンス等を実施し、利用者が落ち着いて生活できるよう支援体制の見直しに取り組んだ。
- 3 地域の作業所等を訪問し、有資格者の看護師等による救命講習研修「すこやかサービス」を11回実施した。(派遣職員延べ29名・参加者合計148名)
- 4 地域で生活する在宅障害児者を対象とした「ワクワクサークル」を9回実施した(参加者延べ113名)。また、当園近隣に居住する障害児者及びその家族等に創作活動を楽しんでいただくため「ワークショップ」を3回実施した(参加者63名)。
- 5 「地域コンサート」を5回開催し、外部からも地元千木良小学校生徒・近隣住民等が参加し交流を深めた(参加者847名〈園利用者含む〉)。また、地元千木良小学校と交流を図るため、地区清掃「交流美化デー」を6回実施した。
- 6 相模原市及び地元自治会と防災に係る協力体制について協議した。園では事業の一環として防災資機材と防災用飲料水を購入した。
- 7 相談支援体制をテーマにシンポジウムを実施した(参加者92名)。また、臨床心理士等を講師に招いて、近隣施設・地域作業所等に対して研修会「寺子屋」を5回実施した(参加者合計136名)。

4 収支状況(単位:千円)注:千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	1,391,668	602,867	729,600 (703,720)	59,201	1,355,987	35,681
下半期 予算額	714,376	304,024	364,907	45,445	714,376	0
10月	107,021	40,609	64,469 (53,563)	1,943	70,538	36,483
11月	102,339	40,609	59,947 (58,374)	1,783	70,422	31,917
12月	165,295	100,992	61,295 (55,821)	3,008	148,355	16,940
1月	102,699	40,609	60,433 (55,540)	1,657	78,562	24,137
2月	106,970	40,609	60,720 (53,649)	5,641	79,921	27,049
3月	142,630	40,596	65,541 (61,268)	36,493	310,437	△167,807
今年度 半期計	726,954	304,024	372,405 (338,215)	50,525	758,235	△31,281
前年度 同期計	668,058	304,830	338,215 (358,458)	25,013	698,845	△30,787

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

**収支状況に関する意見等**

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

**<意見等>**

①～③ 該当なし

- ・ 利用料金については、昨年度と比較した結果、各事業で述べ利用者数の増員となった。
  - ① 施設入所・・・1,259人の増員
  - ② 生活介護・・・377人の増員
  - ③ 短期入所・・・745人の増員
- ・ 収支差額については、支援費収入が2ヶ月遅れで入金されることから、次年度当初の運転資金として活用する。

**<参考>**

**本施設について県が支出した(する)修繕費等**

管理施設の修繕において、計画修繕工事・各所営繕工事等に係る費用については、県が負担することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0	
下半期	4,005,750	管理棟外壁補修及び体育館庇雨樋改修工事等
総額	4,005,750	管理棟外壁補修及び体育館庇雨樋改修工事等

**(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)**

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	車両(3台)	3,361
	マルチリフター(1台)	2,782
	汚物処理機(1台)	997
積立等の状況	生活介護会 80,100	(期首) 69,000
	診療所会計 4,000	(期末) 84,100

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

## 5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	853 人	827 人	3.1%
下半期計 (b)	850 人	836 人	1.7%
10 月	142 人	139 人	2.2%
11 月	141 人	141 人	0.0%
12 月	141 人	139 人	1.4%
1 月	141 人	139 人	1.4%
2 月	142 人	138 人	2.9%
3 月	143 人	140 人	2.1%
合計 (a+b)	1,703 人	1,663 人	102.4%

### 利用状況に関する意見等

- ・ 短期入所の利用者数は増加した。延べ人数 5,092 人、前年対比増減率は 14.9%であった。

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	900 人	853 人	827 人	△5.2%	3.1%
今年度下半期計	900 人	850 人	836 人	△5.6%	1.6%

### 利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況进行分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

#### <意見等>

- ① 該当なし
- ② 自立生活可能な障害者が在宅やグループホーム、ケアホームといった地域生活移行に向けた取組を進めており、目標利用者数(定員 150 人)を割っている状況にある。定員割れについては、短期入所の受入枠を広げ、在宅支援に努めている。

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
11月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
12月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
1月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
2月	2 (0)	1 (0)	( )	( )	( )	3 (0)
3月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
合計	2 (0)	1 (0)	( )	( )	( )	3 (0)

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・家族との外出時の衣類について、身だしなみがなっていない。	・本人の特性と外出前の家族との事前確認のお願いをして了解していただく。
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

## 8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
12月24日	帰宅期間中に母と帰園のため、園に向かう途中町田駅で所在不明となり近隣の飲食店で無銭飲食し警察に保護される。職員と家族で警察、飲食店には謝罪を行う。	園からの連絡をうけて、受付表を作成し、グループ内に周知を行った。	利用者の個性により起こった事故であるが、帰宅期間中においても園の職員が迅速に対応した。
3月17日	リビングのマットに足を滑らせ転倒し左肩下上腕骨を骨折する。シーネ固定にて固定が必要であるが、動きが多い方なのでご家族に同意を得て拘束着対応を行う。	園からの連絡をうけて、受付表を作成し、グループ内に周知を行った。	リビングマットに滑り止めの設置や敷き方の配慮が足りなかった。安全確保の定期的な点検が必要である。

#### 9 随時モニタリングの実施状況

⇒該当なし

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果（指定管理者の課題の有無等を含む）
月 日			
月 日			
月 日			

#### 10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>① 利用者中心の支援、人権擁護に配慮した支援を実施、研修等積極的に実施</p> <p>ア 人権アンケートの実施(家族、職員、実習生)</p> <p>イ 人権援助指針を毎月掲げ組織的な取組として実施</p> <p>ウ 職員研修を実施(危機介入、たんの吸引等)</p> <p>② リスクマネジメント体制の強化、事故防止対策</p> <p>ア ひやりはっと、事故報告の分析、検証</p> <p>イ チェックを用いて危険箇所、危険物の早期発見</p> <p>ウ 各種マニュアルの検証、確認</p> <p>③ 積極的な地域貢献への参加を推進</p>
-------	--

	<p>ア 地域サービス事業については、記載の通り積極的に地域に対して実践することができた。地域との連携強化を図るため、今後も更に充実を図りたい。</p> <p>イ 地元消防団へ入団（職員2名）</p> <p>④ 相模原市緑区を中心とした福祉サービスの充実</p> <p>ア 津久井地域障害児者ネットワーク会議を実施</p> <p>イ 緑区障害福祉課との連携（ケア会議の出席、地域課題の検討）</p> <p>④ 生活環境の向上</p> <p>ア 利用者の生活環境向上のため設備改修等を計画的に取り組んだ。今後も利用者が安全安心に生活できるよう計画的に生活環境の整備に努めたい。</p>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内での利用者中心の支援展開を実施している上で、地域貢献への参加の推進の視点をもって事業を行っている。これについて、県として期待した役割を展開する努力をしていると評価できる。</li> <li>・ 今後についても、施設内での重度障害者への支援の質の向上を目指したソフト・ハード両面の整備と、地域移行や地域の障害者や事業所への支援に眼をむけた事業展開を期待したい。</li> </ul>